

決算短信補足資料

(2014年3月期 第2四半期決算)

2013年10月29日

西日本旅客鉄道株式会社

1.決算ハイライト

(単位:億円)

	2013年3月期 2Q累計実績	2014年3月期 2Q累計実績	対前年		2013年3月期 通期実績	2014年3月期 通期予想 (10/29)*	対前年	
			増減	比率(%)			増減	比率(%)
	A	B	B-A	B/A	C	D	D-C	D/C
【連結】								
営業収益	6,394	6,421	+27	100.4	12,989	13,105	+115	100.9
営業利益	717	748	+30	104.3	1,294	1,250	▲ 44	96.5
経常利益	578	615	+37	106.4	1,046	1,015	▲ 31	97.0
四半期(当期)純利益	347	368	+20	106.0	601	575	▲ 26	95.5
【単体】								
営業収益	4,367	4,335	▲ 32	99.3	8,685	8,665	▲ 20	99.8
運輸収入	3,850	3,886	+36	100.9	7,691	7,750	+58	100.8
営業費用	3,755	3,712	▲ 42	98.9	7,661	7,725	+63	100.8
人件費	1,169	1,172	+3	100.3	2,333	2,350	+16	100.7
物件費	1,629	1,613	▲ 15	99.0	3,427	3,515	+87	102.5
動力費	187	214	+27	114.6	371	440	+68	118.5
修繕費	601	599	▲ 2	99.6	1,365	1,405	+39	102.9
業務費	840	799	▲ 40	95.2	1,691	1,670	▲ 21	98.8
減価償却費	658	628	▲ 30	95.4	1,347	1,310	▲ 37	97.2
営業利益	612	623	+10	101.8	1,023	940	▲ 83	91.9
経常利益	471	496	+24	105.2	775	710	▲ 65	91.5
四半期(当期)純利益	254	304	+49	119.5	419	435	+15	103.8

* 2013年7月30日発表の通期予想から変更していません。

2.単体損益計算書と業績予想

(単位:億円)

	2013年3月期 2Q累計実績	2014年3月期 2Q累計実績	対前年		2013年3月期 通期実績	2014年3月期 通期予想 (10/29)*	対前年	
			増減	比率(%)			増減	比率(%)
	A	B	B-A	B/A	C	D	D-C	D/C
営業収益	4,367	4,335	▲ 32	99.3	8,685	8,665	▲ 20	99.8
運輸収入	3,850	3,886	+36	100.9	7,691	7,750	+58	100.8
その他収入	517	449	▲ 68	86.8	993	915	▲ 78	92.1
営業費用	3,755	3,712	▲ 42	98.9	7,661	7,725	+63	100.8
人件費	1,169	1,172	+3	100.3	2,333	2,350	+16	100.7
物件費	1,629	1,613	▲ 15	99.0	3,427	3,515	+87	102.5
動力費	187	214	+27	114.6	371	440	+68	118.5
修繕費	601	599	▲ 2	99.6	1,365	1,405	+39	102.9
業務費	840	799	▲ 40	95.2	1,691	1,670	▲ 21	98.8
線路使用料等	119	118	▲ 0	99.7	234	235	+0	100.0
租税公課	179	179	▲ 0	99.9	317	315	▲ 2	99.2
減価償却費	658	628	▲ 30	95.4	1,347	1,310	▲ 37	97.2
営業利益	612	623	+10	101.8	1,023	940	▲ 83	91.9
営業外損益	▲ 140	▲ 126	+13	90.2	▲ 247	▲ 230	+17	92.9
営業外収益	14	15	+0	—	64	62	▲ 2	—
営業外費用	155	142	▲ 12	—	311	292	▲ 19	—
経常利益	471	496	+24	105.2	775	710	▲ 65	91.5
特別損益	28	▲ 3	▲ 32	—	1	—	▲ 1	—
特別利益	232	30	▲ 202	—	399	—	—	—
特別損失	204	33	▲ 170	—	397	—	—	—
四半期(当期)純利益	254	304	+49	119.5	419	435	+15	103.8

* 2013年7月30日発表の通期予想から変更していません。

3.運輸収入の主な増減要因

(単位:億円)

		2014年3月期 2Q累計実績			
		運輸収入	対前年	主な増減要因	
新幹線	1,811	+23 (101.3%)	基礎トレンド(101.0%)		+17
			特殊要因	曜日配列(9月3連休)	+6
				インバウンド	+4
				競合要因等	▲7
			等		
在来線	1,475	+16 (101.1%)	基礎トレンド(100.8%)		+11
			特殊要因	曜日配列(9月3連休)	+1
				グランフロント大阪	+4
在来線計	599	▲3 (99.4%)	基礎トレンド(99.4%)		▲3
			特殊要因	曜日配列(9月3連休)	+1
					等
運輸収入計		3,886	+36 (100.9%)		

荷物収入は金額些少のため省略。

4.運輸収入と旅客輸送量の実績

運輸収入

(単位:億円)

輸送人キロ

(単位:百万人キロ)

	2Q累計実績(4/1~9/30)			2Q実績(7/1~9/30)		
	2013年 3月期	2014年 3月期	対前年	2013年 3月期	2014年 3月期	対前年
全社計	3,850	3,886	+36 100.9%	1,972	2,004	+32 101.6%
新幹線	1,788	1,811	+23 101.3%	923	944	+20 102.2%
定期	46	46	+0 101.5%	22	23	+0 102.4%
定期外	1,742	1,764	+22 101.3%	900	920	+20 102.2%
在来線	2,061	2,074	+12 100.6%	1,048	1,060	+11 101.1%
定期	713	716	+2 100.4%	353	355	+2 100.6%
定期外	1,347	1,358	+10 100.8%	695	704	+9 101.3%
近畿圏	1,458	1,475	+16 101.1%	731	744	+12 101.8%
定期	575	578	+2 100.4%	285	287	+1 100.7%
定期外	883	897	+14 101.6%	446	457	+10 102.4%
その他	603	599	▲3 99.4%	316	315	▲1 99.5%
定期	138	138	+0 100.1%	68	68	+0 100.3%
定期外	464	460	▲4 99.1%	248	246	▲1 99.3%

	2Q累計実績(4/1~9/30)			2Q実績(7/1~9/30)		
	2013年 3月期	2014年 3月期	対前年	2013年 3月期	2014年 3月期	対前年
全社計	27,741	27,941	+200 100.7%	14,046	14,275	+229 101.6%
新幹線	8,595	8,722	+126 101.5%	4,456	4,584	+128 102.9%
定期	376	380	+4 101.1%	185	190	+4 102.4%
定期外	8,219	8,341	+122 101.5%	4,270	4,394	+123 102.9%
在来線	19,145	19,219	+73 100.4%	9,590	9,691	+101 101.1%
定期	11,763	11,760	▲3 100.0%	5,746	5,762	+16 100.3%
定期外	7,381	7,458	+77 101.0%	3,843	3,928	+85 102.2%
近畿圏	14,499	14,565	+66 100.5%	7,195	7,279	+84 101.2%
定期	9,486	9,487	+1 100.0%	4,643	4,659	+15 100.3%
定期外	5,013	5,077	+64 101.3%	2,551	2,620	+68 102.7%
その他	4,645	4,653	+7 100.2%	2,394	2,411	+17 100.7%
定期	2,277	2,272	▲4 99.8%	1,102	1,103	+0 100.1%
定期外	2,368	2,380	+12 100.5%	1,291	1,308	+16 101.3%

5.運輸収入の見通し

(単位:億円)

	2013年3月期 通期実績 A	2014年3月期 通期予想 (10/29)* B	対前年	
			増減 B-A	比率(%) B/A
新幹線	3,570	3,627	+57	101.6
在来線	近畿圏	2,914	+9	100.3
	その他	1,206	▲ 7	99.4
	在来線計	4,120	+1	100.0
運輸収入計	7,691	7,750	+58	100.8

荷物収入は金額些少のため省略。

* 2013年7月30日発表の通期予想から変更してありません。

6.単体営業費用の主な増減要因

(単位:億円)

科目	2014年3月期 2Q累計実績		
		対前年	主な増減要因
人件費	1,172	+3 (100.3%)	・健康保険・厚生年金保険料率変更+6 等
動力費	214	+27 (114.6%)	・電気料金値上げ・燃料価格上昇等+26 等
修繕費	599	▲2 (99.6%)	・除却費減▲12、自己資金撤去工事費減▲8 ・業務波動による増 等
業務費	799	▲40 (95.2%)	・会社間清算減▲62 ・電気料金値上げ・燃料価格上昇等+4 ・システム関連経費増+2 等
線路使用料等	118	▲0 (99.7%)	
租税公課	179	▲0 (99.9%)	
減価償却費	628	▲30 (95.4%)	・償却進捗
営業費用計	3,712	▲42 (98.9%)	

7.単体営業費用の見通し

(単位:億円)

科目	2014年3月期通期見通し		
		対前年	主な増減要因
人件費	2,350	+16 (100.7%)	・健康保険・厚生年金保険料率変更 等
動力費	440	+68 (118.5%)	・電力料金値上げ・燃料価格上昇 等
修繕費	1,405	+39 (102.9%)	・レール交換増 等
業務費	1,670	▲ 21 (98.8%)	・会社間清算減 ・システム関連経費増 ・電力料金値上げ・燃料価格上昇 等
線路使用料等	235	+0 (100.0%)	
租税公課	315	▲ 2 (99.2%)	・固定資産税減 等
減価償却費	1,310	▲ 37 (97.2%)	・償却進捗
営業費用計	7,725	+63 (100.8%)	

8.連結損益計算書と業績予想

(単位:億円)

	2013年3月期 2Q累計実績 A	2014年3月期 2Q累計実績 B	対前年		2013年3月期 通期実績 C	2014年3月期 通期予想 (10/29)* D	対前年	
			増減 B-A	比率(%) B/A			増減 D-C	比率(%) D/C
営業収益	6,394	6,421	+27	100.4	12,989	13,105	+115	100.9
営業費用	5,676	5,673	▲ 3	99.9	11,694	11,855	+160	101.4
営業利益	717	748	+30	104.3	1,294	1,250	▲ 44	96.5
営業外損益	▲ 139	▲ 132	+6	95.2	▲ 248	▲ 235	+13	94.7
営業外収益	18	15	▲ 2	-	68	67	▲ 1	-
営業外費用	157	148	▲ 9	-	316	302	▲ 14	-
経常利益	578	615	+37	106.4	1,046	1,015	▲ 31	97.0
特別損益	▲ 11	▲ 5	+5	-	▲ 49	▲ 30	+19	-
特別利益	238	33	▲ 204	-	415	-	-	-
特別損失	249	39	▲ 210	-	465	-	-	-
四半期(当期)純利益	347	368	+20	106.0	601	575	▲ 26	95.5
四半期包括利益	259	383	+124	147.9	550	-	-	-

*2013年7月30日発表の通期予想から変更してありません。

9.セグメント情報と業績予想

(単位: 億円)

	2013年3月期 2Q累計実績	2014年3月期 2Q累計実績	対前年		2013年3月期 通期実績	2014年3月期 通期予想 (10/29)* ¹	対前年	
			増減	比率(%)			増減	比率(%)
			A	B			B-A	B/A
営業収益* ²	6,394	6,421	+27	100.4	12,989	13,105	+115	100.9
運輸業	4,249	4,223	▲ 26	99.4	8,449	8,440	▲ 9	99.9
流通業	1,152	1,168	+15	101.4	2,346	2,364	+17	100.7
物販・飲食	669	682	+12	101.8	1,344	1,316	▲ 28	97.9
百貨店	452	438	▲ 13	96.9	935	960	+24	102.7
不動産業	437	428	▲ 9	97.8	909	1,038	+128	114.2
ショッピングセンター	271	273	+2	100.9	550	527	▲ 23	95.7
不動産賃貸・販売* ⁴	158	146	▲ 12	92.3	342	494	+151	144.0
【分譲事業】	【22】	【9】			【69】	【218】		
その他	554	602	+47	108.6	1,284	1,263	▲ 21	98.4
ホテル	159	162	+3	101.9	330	331	+0	100.2
旅行	172	183	+11	106.6	388	385	▲ 3	99.0
営業利益* ³	717	748	+30	104.3	1,294	1,250	▲ 44	96.5
運輸業	550	571	+21	103.9	901	827	▲ 74	91.8
流通業	▲ 6	20	+26	-	▲ 4	31	+35	-
物販・飲食	23	24	+1	107.4	33	-	-	-
百貨店	▲ 31	▲ 6	+25	-	▲ 40	-	-	-
不動産業	141	122	▲ 19	86.2	280	277	▲ 3	98.9
ショッピングセンター	45	43	▲ 2	95.2	87	-	-	-
不動産賃貸・販売	39	33	▲ 6	84.7	81	-	-	-
その他	24	25	+0	103.3	123	119	▲ 4	96.3
ホテル	7	9	+1	121.4	23	-	-	-
旅行	▲ 2	▲ 2	▲ 0	-	7	-	-	-

*¹ 2013年7月30日発表の通期予想から変更してありません。

*² 営業収益は、外部顧客に対する売上高(外部売上高)を示しており、各セグメントの内訳は、主な子会社の外部売上高の合計値です。内訳の合計値は、セグメント計と一致しません。

*³ 営業利益の各セグメントの内訳は、主な子会社の営業利益の単純合算値です。内訳の合計値は、セグメント計と一致しません。

*⁴ 【 】は分譲売上(外部売上高)(再掲)です。

10.連結財政状況およびキャッシュフロー計算書

(単位:億円)

	2013年3月期 期末 A	2014年3月期 2Q期末 B	増減 B-A
資産	26,137	25,869	▲268
負債	18,455	17,911	▲544
純資産	7,681	7,957	+276
長期債務残高	9,830	9,874	+43
【長期債務平均金利(%)】	【2.84】	【2.76】	【▲0.08】
新幹線債務	2,442	2,282	▲159
【新幹線債務平均金利(%)】	【5.69】	【5.74】	【+0.05】
社債	4,499	4,599	+100
【社債平均金利(%)】	【2.11】	【2.08】	【▲0.03】
自己資本比率	28.5	29.9	+1.4
1株当たり純資産(円)	3,850.82	3,991.76	+140.94

	2013年3月期 2Q累計実績 A	2014年3月期 2Q累計実績 B	対前年増減 B-A
営業活動によるキャッシュフロー	925	696	▲228
投資活動によるキャッシュフロー	▲655	▲602	+52
フリーキャッシュフロー	269	93	▲175
財務活動によるキャッシュフロー	▲399	▲132	+267
現金及び現金同等物の増減	▲129	▲38	+91
現金及び現金同等物の期末残高	373	445	+71

11. 諸元表

(単位:人、億円)

	2013年3月期 2Q累計実績	2014年3月期 2Q累計実績	2013年3月期 通期実績	2014年3月期 通期予想(10/29)*2
連結ROA (%)	2.8	2.9	4.9	4.7
連結ROE (%)	4.9	4.9	8.3	7.5
連結EBITDA*1	1,507	1,498	2,903	2,810
連結減価償却費	789	750	1,608	1,560
連結設備投資(自己資金)	499	462	1,529	1,920
単体設備投資(自己資金)	376	373	1,248	1,650
安全関連投資	194	240	727	890
1株当たり配当金(円)	55	55	110	110

	2013年3月期 2Q累計実績		2014年3月期 2Q累計実績		2013年3月期 通期実績		2014年3月期 通期予想(10/29)*2	
	連結	単体	連結	単体	連結	単体	連結	単体
期末従業員数(就業人員)	45,642	26,971	46,127	27,370	45,326	26,889	-	-
金融収支	▲ 153	▲ 146	▲ 138	▲ 131	▲ 300	▲ 289	▲ 281	▲ 270
受取利息・配当金	2	7	3	9	3	13	4	13
支払利息	155	154	141	140	304	303	285	283

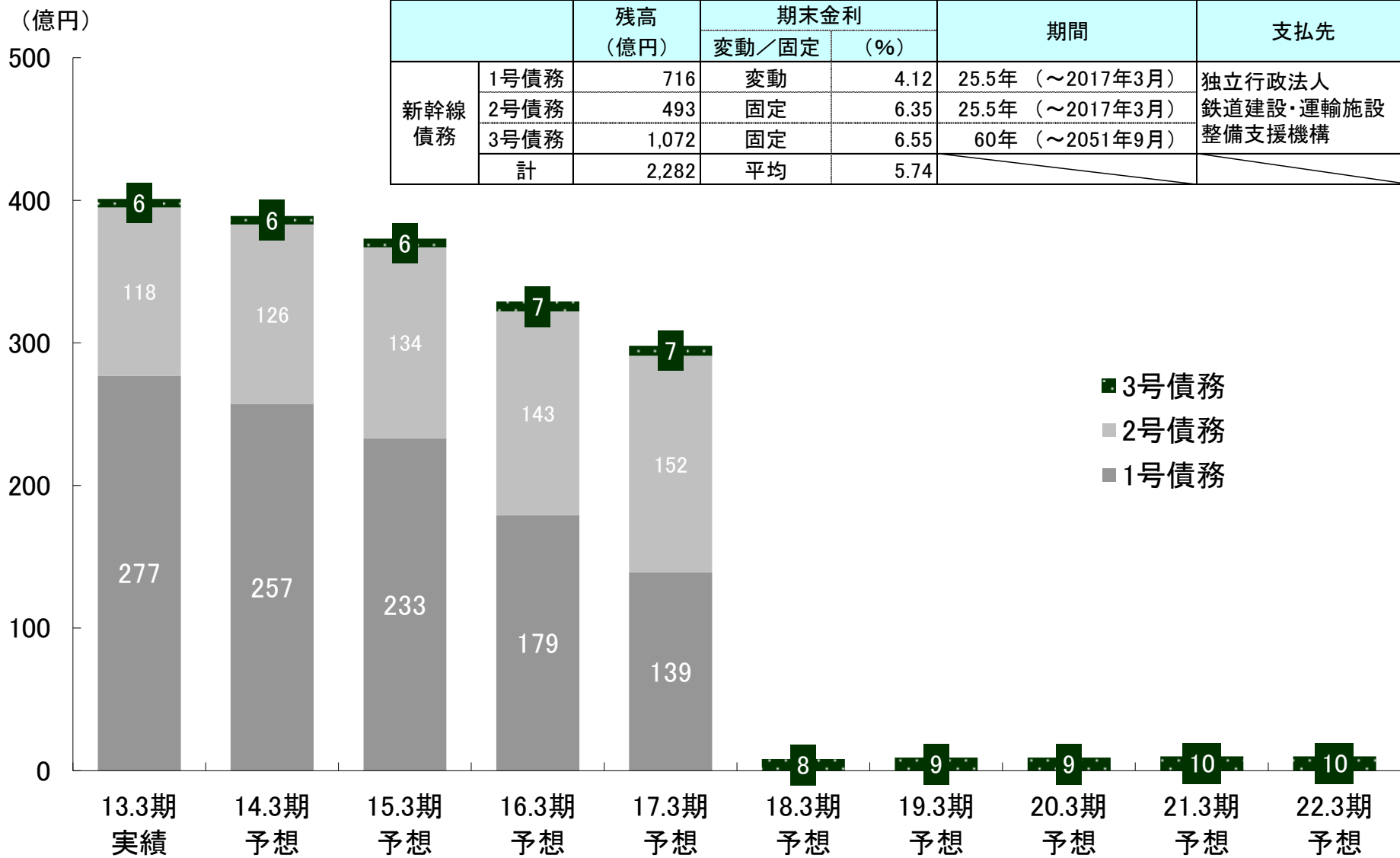
*1 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

*2 2013年7月30日発表の通期予想から変更していません。

12.新幹線債務償還計画

【2013年9月末】

		残高 (億円)	期末金利		期間	支払先
			変動/固定	(%)		
新幹線 債務	1号債務	716	変動	4.12	25.5年 (～2017年3月)	独立行政法人 鉄道建設・運輸施設 整備支援機構
	2号債務	493	固定	6.35	25.5年 (～2017年3月)	
	3号債務	1,072	固定	6.55	60年 (～2051年9月)	
	計	2,282	平均	5.74		



将来の見通しに関する注意事項

- 本スライドは、JR西日本の事業、産業及び世界の資本市場についてのJR西日本の現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。
- これらの将来の展望に関する表明は、さまざまなリスクや不確かさがつきまとっています。通常、このような将来への展望に関する表明は、「かもしれない」、「でしょう」、「予定する」、「予想する」、「見積もる」、「計画する」、又はこれらに類似する将来のことを表す表現で表わされています。これらの表明は、将来への予定について審議し、方策を確認し、運営実績やJR西日本の財務状況についての予想を含み、又はその他の将来の展望について述べています。
- 既に知られた若しくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、かかる将来の展望に対する表明に含まれる事柄とも大いに異なる現実の結果を引き起こさないとも限りません。JR西日本は、この将来の展望に対する表明に示された予想が結果的に正しいと約束することはできません。JR西日本の実際の結果は、これら展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。
- 実際の結果を予想と大いに異なるものとする重要なリスク及び要因には、以下の項目が含まれますが、それに限られるわけではありません。
 - 財産若しくは人身の損害に関する費用、責任、収入減、若しくは悪い評判
 - 経済の悪化、デフレ及び人口の減少
 - 日本の法律、規則及び政府の方針の不利益となる変更
 - 旅客鉄道会社及び航空会社等の競合企業が採用するサービスの改善、価格の引下げ及びその他の戦略
 - 地震及びその他の自然災害のリスク、及び情報通信システムの不具合による、鉄道その他業務運営の阻害
- 本スライドに掲げられたすべての将来の展望に関する表明は、2013年10月29日現在においてJR西日本に利用可能な情報に基づいて、2013年10月29日現在においてなされたものであり、JR西日本は、将来の出来事や状況を反映して、将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。
- なお、2005年4月25日に発生させた福知山線列車事故に関する今後の補償費用等については、現時点で金額等を合理的に見積もることが困難なことから、本スライドの見通しには含まれておりません。

当資料は、弊社ホームページでご覧いただけます。

JR西日本ホームページ「IR情報」 <http://www.westjr.co.jp/company/ir/>